

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年10月19日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、いつものように補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目中段、10月23日火曜日、(2)の第644回の審査会合についてでございます。こちらの議題、審査の対象といたしましては、1件予定されております。東北電力・女川発電所2号機についての設置変更許可の審査でございます。内容は、耐津波設計についての審査ということで、前回に続いてのコメント回答を予定してございます。

次に、2ページ目下段になります。10月26日金曜日、(8)第7回維持規格の技術評価に関する検討チームの開催が予定されてございます。こちらは、今週水曜日、17日の規制委員会定例会において、検討状況の中間報告を行ったところでございます。それを踏まえて検討を進めていくというものでございます。

議題の内容としましては、記載のとおり、維持規格に関連する規格の技術評価ということで、維持規格に引用されております規格、試験方法等についての規格についての技術評価について議論をするとともに、議題2に記載がございしますが、先日の原子力規制委員会での中間報告の状況及びその際の議論について、報告をすることなどが予定をされているところでございます。

私からの御説明は以上となります。

### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手をお挙げください。どうぞ。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしく願いいたします。

御説明いただいたことから脱線してしまっていて恐縮なのですが、最終ページ「その他」のところリアルタイム線量測定システムの住民説明会を毎回書いていただいているのですけれども、現段階で予定している回のどのぐらいを開催したというような認識に

なるのでしょうか。

○大熊総務課長 全体の中でどのぐらいこの中で進んだか、数を実施してきたかということですか。済みません。ちょっと今、手元に数字がございません。後ほど個別に担当課にお問い合わせいただくか、広報のほうからお伝えさせていただければと思います。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—